

2015年7月23日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川科学研究助成・笹川スポーツ研究助成 合同シンポジウム 「未来を創る研究者が目指すもの」 9月6日(日)開催のお知らせ

笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区 理事長:小野清子 以下:SSF)と日本科学協会(以下:JSS)は、このたび「未来を創る研究者が目指すもの」をテーマに合同シンポジウムを開催いたします。

SSFでは2011年より、スポーツ振興に寄与することを目的にスポーツの人文・社会科学領域の研究を支援しております。またJSSでは1988年より、人文・社会科学と自然科学(医学除く)全般を対象とする若手研究者への支援を行っております。

本シンポジウムは、研究者たちが自らの研究を深めると同時に、専門的知見や研究成果を社会に発信し、社会的課題の解決などに視野を広げることを目的として開催いたします。

当日は、黒田玲子氏の基調講演をはじめ、特別解説として「誠実な科学者の心得」や若手研究者による「社会と向き合う若手研究者からの問題提起」など意義深いプログラムを予定しております。ぜひご参加・ご取材のほど、よろしくお願いいたします。

<日時> 2015年9月6日(日) 第1部 13:30~16:30、 第2部 懇親会 16:40~17:40

<会場> 日本財団 2階 大会議室 / 8階

<プログラム>

○基調講演「若手研究者に期待すること」

黒田 玲子氏(東京理科大学教授、東京大学名誉教授、国連科学諮問委員会委員)

○特別解説「誠実な科学者(研究者)の心得」

浅島 誠氏(日本学術振興会理事)

○「社会と向き合う若手研究者からの問題提起

—生命・身体・健康・スポーツを巡る研究を事例として—

児玉 謙太郎氏(神奈川大学/JSS2014年度採択研究)

「適応的な身体システムの定量評価:知覚-行為の協調にもとづく健康な身体づくりに向けて」

島崎 崇史氏(早稲田大学/SSF2013年度採択研究)

「地域住民の身体活動・運動実施を支援するヘルス・コミュニケーション介入の効果検証」

香月 あすか氏(産業医科大学/SSF2014年度採択研究)

「運動習慣はうつ病患者の社会復帰を成功させるか」

(※登壇者は予定)

指定討論者:跡見 順子氏(東京農工大学客員教授、東京大学名誉教授)

司会:工藤 保子(笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 副主任研究員)

○両研究助成の紹介

<取材申込み FAX 返信票は次ページをご参照ください>

<この件に関するお問合せ先>

笹川スポーツ財団:工藤、山田、高橋/TEL:03-5545-3303 grant@ssf.or.jp